
「Impellaの管理を要する心原性ショック症例を検討する単施設後ろ向き・前向き観察研究

～COEDO-UNLOAD レジストリ～」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療記録を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2022年1月1日から2024年12月31日の期間に心原性ショックで入院し、補助循環管理としてImpellaを使用した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

心原性ショックは命にかかわる重篤な状態であり、発症後の死亡率も高く、迅速かつ適切な治療が求められます。近年では「インペラ」という補助循環装置が使用されるようになり、心臓の負担を軽くして全身の血流を保つことが可能になってきました。しかし、どのような患者さんにインペラを使うべきか、どのように管理すればよりよい結果につながるかは、まだ十分には分かっていません。そこで今回、当院でインペラを使用した患者さんについて、検査結果・治療内容・経過などを振り返って整理・分析することで、今後の診療や治療方針の改善につなげることを目的として研究を行います。

3. 研究期間

病院長の許可後～2034年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2026年3月5日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

患者さんの身体所見、検査データ、診療記録を用いた研究を行います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である重城健太郎が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

急性心不全が主病名で当院に搬送された患者さんの情報を過去の診療録(カルテ)から収集します。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

研究責任者：	心臓内科	医師	教授	重城 健太郎
研究実施者：	心臓内科	医師	助教	谷 昂大
	心臓内科	医師	講師	小宮山 英徳
	心臓内科	医師	講師	石原 嗣郎
	心臓内科	医師	助教	阿部 拓朗
	心臓内科	医師	助教	村上 司
	心臓内科	医師	助教	河原 勇貴
	心臓内科	医師	助教	奥田 希子
	心臓内科	医師	助教	小形 円香
	心臓内科	医師	助教	安藤 敏行
	心臓内科	医師	助教	家村 優
	心臓内科	医師	助教	志賀野 航生
	心臓内科	医師	助教	北川 快
	心臓内科	医師	助教	三好 晃太郎
	心臓内科	医師	助教	橋本 淳貴
	心臓内科	医師	助教	米山 史華
	心臓内科	医師	助教	沼賀 美紀

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

埼玉医科大学総合医療センター

担当 心臓内科 教授 重城 健太郎

TEL : 049-228-3587 (直通)

(平日 9 時～17 時)

○研究課題名 : Impella の管理を要する心原性ショック症例を検討する単施設後ろ向き・前向き観察研究

～COEDO-UNLOAD レジストリ～

○研究責任者 : 埼玉医科大学総合医療センター 心臓内科 重城 健太郎